

令和元年度

事業報告書

公益財団法人 静岡産業振興協会

目 次

〈総 括〉	1
1 公益目的事業	3
(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）	3
① 展示場及び会議室等の貸与	3
(2) 地場産業支援事業	5
① 人材養成、人材確保推進事業	5
② 新商品、新技術支援及びデザイン開発支援事業	8
③ 「産業フェアしずおか」の開催事業	9
(3) 都市型産業支援事業	11
① 創業者支援事業	11
② マーケティング支援事業	14
③ 産学連携事業	16
④ 情報提供事業	19
⑤ 施設提供事業	19
(4) 静岡市中小企業支援センター事業	20
① 窓口相談等事業	20
② 専門家派遣事業	21
③ 新連携・地域資源活用プログラム等、利用支援事業	21
④ 中小企業等販路開拓支援事業	21
⑤ 制度融資関連事務	23
2 収益事業（ツインメッセ静岡）	24
(1) 展示場及び会議室等の貸与	24
(2) レストランテナント及び飲料水自動販売機事業	24
3 公益と収益に共通する事業	25
(1) 利用促進事業	25
(2) 有料駐車場の管理・運営	26
(3) 施設整備・修繕等	27
4 組織・人材づくりへの取組	28
(1) 組織内の人材育成	28
(2) 組織内の内部統制	28
5 新型コロナウイルス感染拡大への対応	28
(1) 安全対策	28
(2) キャンセル状況	29
6 理事会・評議員会	29
(1) 理事会	29
(2) 評議員会	30
参考資料	
◇ 展示場の利用状況	31
◇ 会議室の利用状況	34
◇ 年間来場者数	34
◇ 組織構成	35

<総括>

当協会が策定した中期経営計画（2019年度～2022年度）に掲げた目標の達成に向けて、静岡産業支援センター（ツインメッセ静岡）では、「ツインメッセ静岡貸館事業」及び「地場産業支援事業」、静岡市産学交流センターでは、「都市型産業支援事業」及び「中小企業支援センター事業」を計画に沿って実施し、一部目標の未達成があったが全体では概ね計画どおりに実施することができた。

特にツインメッセ静岡の貸館事業では、新型コロナウイルス感染の影響を受け、催事の中止または規模縮小が2月後半から相次いだ。それ以前の定期催事に加えて、企業が主催する大型催事が例年以上に開催されるなど、大展示場の貸し出しが好調であったため、年間を通して賃貸料収入の予算対比では99.7%を確保した。

地場産業支援事業では、「ニューウェーブしずおか」で開発した商品の認知度向上に向けたGマーケットの取得体制の確立に取り組み、また、「産業フェアしずおか」においては、より多くの来場者獲得のために市外からの集客に力を注いだ。

産学交流センターでは、地域課題に係る産学共同研究委託事業において、新たに「発展コース」を設け、2件を採択した。そのうちの一件である「木質調音パネルを使った携帯電話ブースの制作と販売」は、製品化を実現し、もう一件の「リハビリテーション医学に基づく消臭・吸湿性機能を備えた手掌用介護用品の商品化」については、販売方法の具体的な手続きを残すのみとなった。

中期経営計画の年度計画における実績等は、以下のとおりである。

	2019年度計画	実績（結果）	備考
ツインメッセ静岡の活用			
1	小展示場の利用率 37%以上	小展示場の利用率 34.7%	小展示場利用販促チラシを配布したが2019年度には効果が表れなかった。
地場産業支援			
2	熟練者コース新設に向けての支援体制の整備	支援体制の整備には至らなかった。	支援体制の整備について、調査を進めてきたが、より充実した内容に方向転換し、開校を1年先延ばしにした。
3	グッドデザイン賞取得に向けた支援体制の整備	グッドデザイン賞取得支援（助成金）を構築、令和2年度より実施	1次審査料、2次審査料について助成金を交付する。
4	産業フェアしずおか来場者数 9万人	来場者数 77,800人	来場者数の増には至らなかったが、令和元年度に取り組んだ市外からの来場者数の割合は10%から11.7%にアップした。

	2019年度計画	実績（結果）	備考
都市型産業支援			
5	下記3項目の合計数35件以上 (清水産業・情報プラザ分を除く) 新規創業者数 新商品開発 新事業進出	新規創業者数 36件 新商品開発 10件 新事業進出 14件 計60件	当センターの中小企業診断士による窓口相談件数が過去最高の777件となり、新規創業者への指導を充実できたことにより、目標を大きく上回った。
ツインメッセ静岡の老朽化、耐震対策			
6	南館大規模改修の基本設計完了	基本設計に着手するための基本計画策定業務を実施した。	基本設計は令和2年度に実施するが、大規模改修実施のスケジュールには影響はない。
南館大規模改修時のツインメッセ静岡貸館対策			
7	南館利用停止期間の利用者への告知及びヒアリング	南館閉館時の定期利用者を北館へ振り向ける北館予約シミュレーションを作成し、利用者への告知を開始した。	南館改修中の定期利用者の北館利用への日程調整を進めているが、先方の日程が確定出来ないため調整に苦慮している。
8	南館改修中に利用できない定期利用者に対し、近隣展示会場の空き状況の提供と優先予約受付	近隣展示会場の空き状況の提供には至っていない。 優先予約については、日程が確定したものについて受付を実施している。	近隣展示会場とは、受け入れへの協力体制を取ることを確認を得ている。
南館大規模改修の財源確保			
9	第3次総合計画（後期）への掲載	令和4年度に南館の大規模改修を実施する計画について、静岡市の承認を得るとともに、第3次総合計画（後期）に当計画が掲載された。	工事全体にかかる費用と、それに対する市側の支援方針については、今後、市と協議していく。
10	貸館収入4億4千万円以上	貸館収入 4億2千886万円	新型コロナウイルス感染症の影響により貸館収入が減少した。 (影響額 約2千500万円)
財政基盤の強化と健全な財政運営			
11	ツインメッセ静岡の管理費支出額3億1千万円以下(大型修繕を除く)	管理費支出 3億904万円	10月からの消費税改定により支出が増えたが、電気需給契約の見直しによる電気料金の減額などに取り組み目標を達成した。
12	産学交流センターの施設使用料2千3百万円以上	年間施設使用料2千36万円	新型コロナウイルス感染症の影響により施設使用料が減少した。 (影響額 約65万円)

1 公益目的事業

(1) 産業及び地域の振興・交流拠点事業（ツインメッセ静岡）

① 展示場及び会議室等の貸与

地域産業の経済活動支援や人材育成事業など、公益を目的とした事業のため、地場産業団体、地元中小企業や国、県、市などの行政機関に展示場及び会議室を貸与し、地元中小企業の振興に寄与した。

展示場における公益目的の貸館件数は183件で前年度と比較して2件減少し、公益目的事業比率は71.7%であった。

本年度の公益目的の主な催事は、南北両館の大展示場でSDGs推進を掲げた「TGC しずおか2020」と「SDGs COLLECTION」が前年度に引き続き開催されたほか、最新医療を学び、体験ができる「メディメッセージ 2019」が5年ぶりに開催され、市外や県外からの多くの来場者で賑わいを見せた。

また、「第58回静岡ホビーショー」の期間中、初の試みとして開催された「小中高校生招待日」事業においては、“ものづくり体験を通して、地域産業にふれあい、興味・関心を醸成する”ものであることから本事業に対し当協会から協賛金による助成を行った。

会議室は、中小企業等の技術向上セミナーや社員教育セミナー、資格試験、大学入試の会場や展示場利用関係者の控室などに使用され、幅広く活用された。

<地場産業団体・一般企業等>

催事名	使用期間	催事名	使用期間
三協アルミ エクステリア新商品展示会	4/4~7	セブーンイレブン 商品展示会 (春期・秋期)	4/23~25 10/1~3
第58回 静岡ホビーショー	5/5~7 5/9~12	第58回 静岡ホビーショー 小中高校生招待日	5/8
シズオカ [KAGU] メッセ 2019	6/2~9	第43回駿河の家具・インテリア展	6/7~9
静岡優良ツキ板展示大会 (第60・61・62回)	6/12~14 12/2~4 3/10~12	ジャパンレプタイルズショー (summer・winter)	8/2~4 1/3~2/2
メディメッセージ 2019	9/26~29	しんきんつなぐチカラ静岡 2019	10/28・29
タミヤフェア 2019	11/14~17	クリスマスフェスタ 2019	12/5~8
SDGs 推進 TGC しずおか 2020 by TOKYO GIRLS COLLECTION	1/8~12	介護福祉士国家試験	1/25・26

注) 国、県、市が民間へ委託した事業は、ここに分類した。



ホビーショー小中高校生招待日では、5000人を超える子ども達にもものづくりの楽しさを伝えた。

メディメッセージでは、来場者が実際の器具を使って医療の大切さを学んだ。



<国・県・市 等>

催事名	使用期間	催事名	使用期間
静岡市長選挙及び静岡県議会議員選挙葵区・駿河区開票区 開票	4/7・8	第25回参議院議員通常選挙葵区・駿河区開票区 開票	7/21・22
登録販売者試験（一般用医薬品販売の国家資格試験）	9/3・4	ものづくりフェスタ 2019	9/20・21
ふじのくに実学チャレンジフェスタ 2019	10/18・19	高校生JOBフェア	11/11
SDGs COLLECTION supported by TGC しずおか 2020	1/10～12	静岡・清水税務署合同確定申告	2/4～3/17

注) 国、県、市が関わる共催事業は、ここに分類した。

ふじのくに実学フェスタでは、県内の高校生が日ごろの成果を発表した。



成果目標	結果	摘要
大展示場の再利用率 90%以上	大展示場の再利用 87.5%	定期利用者 64 件中 56 件について令和元年度に再利用があった。

<主な会議室利用>

催事名	使用期間
施工管理技士研修会	4/8～3/26 (53 回)
自衛隊 静岡地方本局	5/25～11/10 (5 回)
介護労働講習	6/3～11/13 (93 回)
平成 30 年分静岡・清水税務署合同確定申告控室	2/5～3/18

(2) 地場産業支援事業

① 人材養成、人材確保推進事業

<伝統工芸技術保存講習会>

伝統工芸業界の後継者を対象に、「伝統工芸技術保存講習会」を開催し、伝統技術の継承及び新技術の習得を支援した。また、11月に開催された産業フェアしずおか北館内に講習生の作品展示ブースを設け、講習生の技術習得の成果と披露、今後の創作活動に向けてのモチベーションアップにつなげることができた。

	漆器の部	竹工の部	木工の部	蒔絵の部	拭漆の部
期 間	20日	11日	17日	20日	8日
講 師	安藤嘉津夫氏	高橋一雄氏	松島富蔵氏	大内啓三氏	安藤嘉津夫氏
受講者数	11人	7人	6人	10人	3人
内 容	乾漆制作	四角菓子器	刳物(クモ)	パネル自由制作	拭漆実習

講習会の授業風景
(蒔絵)



産業フェアしずおか
での講習生特設ブ
ース



成果目標	結果
熟練者コース新設に向けた支援体制の整備（経営計画目標）	人材確保の方法、カリキュラムの組み方、予算規模などをまとめ企画作成に取り掛かったが、整備までには至らなかった。
講習会制作作品の展示発表の場を年1回以上設定（経営計画目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・産業フェアしずおかに特設ブースを設置 ・北館3階ラウンジに常設展示コーナーを設置 ・西館2階ラウンジに特設コーナーを設置（西館エスカレータ棟増築工事完成式開催時）

<静岡ものづくり相談・支援事業>

地場産業におけるものづくり関係者を対象に、講演会、講座、展示会への出展を通して地域産業の抱える課題、問題等の解決につなげた。

◆公開講演会

製造業に従事する個人事業主を中心に、地域産業に必要な近接地域内における情報交流や連携、企業間関係について、静岡と同じく木製家具の6大産地の一つである旭川で研究をされていた横田氏を講師に招聘し、地域の多様な資源を最大限活用し、地域ネットワークの構築の必要性について学ぶ講演会を開催した。参加者は、自ら地域ネットワークに携わる事業者として、産地としてのものづくりと価値づくりについて今後の可能性が十分あることを考える良い機会となった。

- ・期 日 令和元年9月27日(金)
- ・会 場 ツインメッセ静岡 409 会議室
- ・テーマ 「家具産地におけるものづくりと価値づくり
～地域の多様な資源を活かすための仕組みのデザイン～」
- ・講 師 横田 宏樹 氏 (静岡大学人文社会科学部経済学科 准教授)
- ・参加者 市内地場産業関係者、製造業者など 23 名

成果目標	結果
公開講演会の参加者数 30 名以上	公開講演会の参加者数 23 名

◆実践講座

職人や製造業者を対象に、販売力・販促力の強化を目的に、展示会出展のためのノウハウについての講習を、講義&ロールプレイ形式による疑似体験を交えて行った。この受講生のうち、半数以上が講習会期間中に開催された、東京インターナショナル・ギフト・ショーに出展、講習効果を実践し活用していた。

- ・期 日 令和2年1月15日(水)・29日(水)・2月12日(水)
- ・会 場 ツインメッセ静岡 406・407 会議室
- ・テーマ 「見本市・展示会で、成果につなげる
～事前準備からアフターフォローまで、ノウハウ完全実践講座～」
- ・講 師 清水博之 氏
(エグゼクティブコンサルティング代表経営コンサルタント/展示会支援)
- ・参加者 8 名

実践を想定した
ロールプレイを
行う受講生たち



◆技術プロモーション支援

商品の製作や販売面の視点とは別に、職人の技術に着目し、職人が保持している技術そのものをPRすることを目的に、素材や技術に特化した展示会「SOZAI 展」に昨年に引き続き静岡漆器工業協同組合が出展した。この出展では技術力に視点を置いた販促活動を行い、「ガラス+漆」「紙+漆」「曲木+漆」といった様々な素材に漆を塗る技術の紹介をし、新たな方向性へのヒントを掴むことができた。

ー SOZAI 展ー

- ・期 日 令和2年2月3日(水)～5日(金)
- ・会 場 東京ビッグサイト
- ・出展企業 静岡漆器工業協同組合

「異素材+漆」のサンプルと商品
を展示し、技術PRを行なった。



<地場産業販路開拓・PR事業>

当協会の地場産業支援事業で開発、製作した製品のアフターフォローを行う事業で、過去の参加企業や団体、個人事業者等に対し、取扱商品の販路開拓やPRの場を提供し、継続的な支援をしている。今年度は継続3年目として、9月の東京インターナショナル・ギフト・ショーLIFE×DESIGNに出展、新規取引先の開拓は前年の179件から162件と減少してしまっていたが、商談(成約)件数は前年の35件を上回る38件の成果を上げることができた。

また、この事業は平成29年度からの3年間の実施期間を設定しておこなった事業であり、その成果は新規取引先の開拓440件、商談(成約)91件と、当初設定した3年間の目標であった新規取引先の開拓300件、商談(成約)90件を上回った。

この実績から令和2年度からは内容を拡大して、引き続き実施していく。



ブース内で自社商品の商談・PRを行う
参加者たち
(東京インターナショナル・ギフト・ショー)

◆参加企業(8社)

松葉畳店/株左京/ZEROMISSION/株吉蔵/KOZOU HAKOSTYLE/大伸木工株/株ソラリネ/
株もちひこ

◆出展展示会

東京インターナショナル・ギフト・ショーLIFE×DESIGN

- ・期 日 令和元年9月3日(火)～6日(金)
- ・会 場 東京ビッグサイト

成果目標	結果
・新規取引先の開拓 100 件 ・商談（成約） 30 件	・新規取引先の開拓 162 件 ・商談（成約） 38 件

<若手職人支援プロジェクト>

静岡の伝統工芸、ものづくり産業の未来を担う若手職人を支援し、静岡の地場産業を全国に広めていくため、全国規模で地場産品等の販売を行っている「中川政七商店」が運営している「日本市 日本橋高島屋 SC 店内イベントスペース」で首都圏に向けての販売及びプロモーションを実施、中川政七商店での継続的な取引を目指したが実現には至らなかった。しかしながら、出展職人のヒアリングから、首都圏における売れ筋商品、顧客単価、購入目的などについて大きな収穫が伺えた。



- ・参加者 するがクリエイティブ
- ・会 期 令和元年 12 月 4 日～令和 2 年 1 月 7 日
- ・会 場 日本市 日本橋高島屋 SC 店内イベントスペース

若手職人集団・するがクリエイティブの新しい挑戦として、首都圏百貨店での販売会を実施

成果目標	結果
「中川政七商店」での継続的な取引商品 2 点創出	継続的な取引商品の話は得られなかった。

② 新商品、新技術支援及びデザイン開発支援事業(ニューウェーブ「しずおか」創造事業)

地元製造業者の新商品開発へのチャレンジを支援する為、企業とデザイナーをつなぐ『ニューウェーブ「しずおか」創造事業』を実施し、地元製造業者とデザイナーとのマッチングを行い、デザインの力を活用した新商品開発を行った。

この開発商品は、令和 2 年 2 月の「東京インターナショナル・ギフト・ショー-LIFE×DESIGN」に展示発表し、半年先の発売時の予約や OEM 商品としての相談を受けるなど、全ての商品が発売前だったにも関わらず、商品発売時の展望が見通せる結果となった。

また、開発商品と開発メーカーの社会的価値の向上を目的とした G マーク（グッドデザイン賞）取得の支援体制を構築、令和 2 年度より実施していく。

製造メーカー、プロデューサー、デザイナーのコラボにより開発した商品が展示された。
(東京インターナショナル・ギフト・ショー)



【令和元年度開発商品】



(有)日本スエーデン
×
DRILL DESIGN



Hand Works Factory
×
YUJI YANAGISAWA DESIGN



岸本挽物製作所
×
studioY0



津田製紐(株)
×
studioA27



小さな野はらの樹
×
STUDIO SURUME



大日三協(株)
×
(株)memori

※ 上段：参加企業
下段：参加デザイナー

◆展示発表会

東京インターナショナル・ギフト・ショー春 2020 LIFE×DESIGN

- ・期 日 令和2年2月5日(水)～7日(金)
- ・会 場 東京ビッグサイト

成果目標	結果
Gマーク取得に向けた支援体制の整備 (経営計画目標)	グッドデザイン賞取得支援(助成金)を構築、令和 2年度より実施
新規参加者を2者獲得(経営計画目標)	新規事業参加者5者獲得

③「産業フェアしずおか」の開催事業

「ススメ!しずおか!進化する静岡の産業を盛りアゲろ!」をテーマに開催した今回の“産業フェアしずおか”は、2日間で8万人近い来場者が訪れた。

北館では、新規出展者が6者増加した「地場産業ゾーン」と「観光ゾーン」を統合し、「地場産業・観光ゾーン」としたことで、地場産業と観光の交流による相乗効果が生まれ、ゾーン全体の回遊性が確保できた。

南館では、「農業ゾーン」「しずまえゾーン」「林業ゾーン」で、例年どおり農産物や水産加工物の販売やPR、木工体験、餅まきなどの来場者参加型のコンテンツを実施、人気を呼んでいた。

また、新たな試みとして市内だけではなく、藤枝市・焼津市・島田市の小学校 48 校に 21,200 枚のチラシを配布した。来場者アンケートの結果によると、静岡市外からの来場者の割合が前年 10%であったのに対し 11.7%にアップし、新たなチラシ配布地域の皆様にも産業フェアしずおかを周知することができた。

- ・期 日 令和元年 11 月 23 日（土）・24 日（日）
- ・テーマ 「ススめ！しずおか！進化する静岡の産業を盛りあげろ！」
- ・会 場 ツインメッセ静岡
北館・南館大展示場
- ・出展団体 189 団体・来場者数 77,800 人

オープニング・テープカットをしていよいよ開幕です。



地場産業と観光のコラボレートによる地場産業・観光ゾーン（北館）



多くの人で賑わいを見せる、大好評の建舞（木やり・餅まき）（南館）

成果目標	結果
来場者数 9 万人以上（経営計画目標）	来場者数 77,800 人
新規地場産業出展者の確保 1 件（経営計画目標）	新規地場産業出展者 6 件確保

(3) 都市型産業支援事業

静岡市から静岡市産学交流センターの指定管理者を受けて、当協会では、「創業や新産業にチャレンジする人・企業を積極的に見だし、共に考える」「中小企業と大学、中小企業のサポーターとの接点を創り出す」ことを理念に掲げ、創業支援、マーケティング支援、産学連携など各種事業を実施し、中期経営計画に掲げた成果目標である新規創業者数、新商品開発件数、新分野進出件数は清水産業・情報プラザと合わせて70件を達成した。

① 創業者支援事業

資本や人材等の経営資源に乏しい創業者がスムーズに事業を開始し、独り立ちするための支援として、経営相談・指導及び事業機会拡大のための各種事業の企画・実施並びに創業者支援セミナーを開催した。

<創業・経営相談>

創業希望者や創業後間もない事業者及び中小企業者等を対象に、創業や経営に関する悩みや課題解決に向け、プロジェクトマネージャーをはじめとする支援スタッフ・窓口相談員が経営相談、事業指導を行った。

成果目標	結果
相談件数 200件	相談件数 205件

<大学等起業家育成支援事業>

大学や高等学校等の学生を対象に、創業マインドを醸成するため「ビジネス実践講座」を実施し、なぜ創業について学ぶのか、ビジネスにおけるアイデアの出し方、事業化・資金計画の策定の仕方等の基礎的知識の習得機会を提供し、選択肢としての「創業」や「就業」、「会社の仕組み」等への理解を深めた。



中小企業診断士による授業風景・生徒発表（静岡デザイン専門学校）

実施大学等の名称	実施回数	参加者数
静岡県立大学	3回	13名
静岡英和学院大学	3回	40名
静岡デザイン専門学校	3回	42名
静岡県立静岡商業高等学校	3回	10名
静岡県立静岡農業高等学校	2回	48名
静岡県立科学技術高等学校	1回	42名
静岡県立駿河総合高等学校	3回	50名
静岡市立高等学校	1回	330名
合計（8校）	19回	575名

この他に、先方からの個別の依頼により、以下を実施。

- ・県内商業高校教員向け 「起業とは～ビジネスプラン作成」
- ・駒形小学校6年生社会科授業 「起業家学習講座」

- ・聖光学院中等部2年生 「起業家学習講座」
- ・駿河総合高校3年生 「BCPの入門講座」

成果目標	結果
大学等5校、高校5校の参加者を確保	参加者 大学等3校、高校5校

<創業者育成支援室運営等事業>

平成30年3月末に『SOHO しずおか』が解散したことに伴い、それまで行っていた事業を同年4月以降、当センターが引継いでいる。

◆ビジネスプランコンテストの実施

静岡県内で新規に事業展開を目指す事業者及び学生を対象に、起業家精神の高揚と柔軟な発想力・独創性に富む人材の発掘、中小企業における新製品・新サービス開発促進の支援を目的として、「しずおかビジネスプランコンテスト」を開催した。

この事業は、ビジネスプランの作成から事業の立ち上げまで、一貫した支援体制が特徴となっている。

今年度の学生部門最優秀賞は、高校2年生の女性で、中学時代に当センターが実施した創業に関する授業を受けたことが今回の応募につながった。



学生が考えたビジネスプランの発表を熱心に聞く受講者たち

○ 開催スケジュール

- ・募集期間 R1. 7/1(月)～10/23(水)
- ・書類審査 R1. 11/6(水)
- ・プレゼン審査 R1. 11/29(金) 11/30(土)
- ・最終審査会 R2. 2/18(火)

○ 応募件数等

- ・応募件数 80件
(一般部門 34件、学生部門 46件)
- ・入賞件数 10件
(一般部門 5件、学生部門 5件)



審査員とコンテスト入賞者による記念撮影

◆創業者育成室の運営

創業者の事務所開設の経費負担や創業後の経営を支援するため、インキュベート施設である創業者育成室の効果的な運営管理を行った。

成果目標	結果
創業者支援育成室の常時4室以上（全5室）の活用	入居者数 5室
ビジネスプランコンテスト 応募件数 80件	応募件数 80件

<創業者支援事業>

◆女性限定「起業スタートアップ塾」 （3回開催/参加者延べ80人）

創業間もない女性、創業に関心のある女性に対し、SNSの活用方法を支援するため、「女性の創業」に特化したセミナーを開催した。毎回、地元で活躍する女性起業家をゲスト講師に迎えて交流会・意見交換を行うほか、ビジネスにおけるSNSについての講義を行った。

- ・ゲスト講師：蒲原屋 代表 新谷琴美 氏
Amitie nori 代表 小田賀子 氏



熱意ある女性達が集まり、参加者同士活発な意見交換が行われた。

◆創業スタートアップ講座(全6回連続講座/参加者累計延べ192人)※男女共参加可

創業予定者を対象に、B-nest 経営応援団（中小企業診断士）による創業セミナーを開催した。マーケティングの基礎知識や資金計画の立て方、ビジネスプラン作成等の講義のほか、毎回、当センターと係わりの深い起業家をお招きし、創業前後の実体験を語っていただくことで、参加者から好評を博した。

- ・ゲスト講師：税理士 増田利幸氏、BASE 代表 久住健人氏、
Sweet atelier bloom 代表、前田沙紀氏、AQUES 代表 八木敏郎氏、
エイグローブ(株)社長 小粥おさ美氏、ベーカリーマルタ代表 斎藤孝人氏

◆起業家訪問会（1回開催/参加者20人）

地元で活躍する先輩起業家の店舗（レストラン）を訪問し、商売の実態を知る機会を得た。また、講師の増田氏には、創業スタートアップ講座特別編として、11月5日に集客に関する講義の時間を設けた（参加者48名）。

- ・講師：(株)プラス・ブレスト取締役 増田郁理 氏

◆女性限定「自分でできる、名刺、ホームページ作成講座」（3回開催/参加者延べ39人）

創業間もない方や今後創業予定の方を対象に、フリーソフトでの名刺作成、ホームページ作成サービスの使い方についての講座。参加者全員が、パソコンを操作して成果物を作る実践的な講義。なお、講師の杉本氏は、当センターの創業者育成室の入居者。

- ・講師：&passo 杉本由美 氏

◆女性限定「魅せる・聴かせる話し方セミナー」（1回開催/参加者32人）

創業スタートアップ講座受講後の更なるステップアップを目的として、創業を間近に控えた女性を中心に、コミュニケーションやプレゼンテーションに特化したセミナーを初開催した。

・講師：(株)舎鐘 代表取締役 長谷川玲子 氏

成果目標	結果
女性創業者を10人以上輩出（経営計画目標）	女性創業者数 18人

② マーケティング支援事業

中小企業に対する支援として、マーケットインの発想に基づき、「売れるもの」をどう創り、誰に、どう買ってもらおうのかという、マーケティングに特化した支援事業を実施した。

＜マーケティング支援講座（セミナー・研修・講座の企画・実施）＞

創業者、中小企業者、従業員に対し、マーケティング発想を醸成する目的で、マーケティングに必要なスキル習得を支援する「マーケティング支援講座」等を13回開催した。

講座名	内容	参加者数
マーケティング支援講座 (9回)	<p>新たな市場調査スキルからネットショップ、集客に至るまで、バラエティに富んだ講座を実施し、よりタイムリーで実践的な内容を中心に学習及び交流する機会を提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地域引力を高める観光のブランドづくり」 講師：静岡県立大学教授 岩崎邦彦氏 ・「伝統企業の業態転換」 講師：(株)江崎新聞店社長 江崎和明氏 ・「増税後も売上を落とさない売上アップ術」 講師：(有)いろは社長 竹内謙礼氏 ほか6講座 	延べ623名
中小企業支援セミナー (4回)	<ul style="list-style-type: none"> ・「スタートアップのすすめ、失敗はむしろ賞される」 ・「リーンスタートアップとデザイン思考」 ・「リーンローンチパッド実践編」2回 	延べ121名



熱心に聴講する受講者



講演後に交流会で意見交流する
受講者

成果目標	結果
講座受講者による満足度割合 90%以上（経営計画目標）	89%

< 静岡おみやプロジェクト >

地域資源を活用した“静岡の新しいお土産”の開発を目指し、静岡市内の食品事業者がマーケティングのノウハウやスキルを学びながら、約10ヵ月をかけて商品開発を行い、販路開拓・販売まで当センターが支援した。

第11回目となった本年度は、「個店の商品開発～インバウンド等おみやげトレンドを学びながら～」のテーマのもと、主婦モニターや外国籍消費者、食品関連バイヤー等からのヒアリングにより、コンセプト・ターゲット設定を行い、創意を凝らしたユニークなおみやげ6品を完成させた。



静岡おみやプロジェクト
商品コンセプト・ターゲット検討の様子

◆プロジェクトメニュー

- ・勉強会／7回 ・個別相談会／11回
- ・消費者モニターによる試食評価会／2回
- ・専門家による試食評価会／1回
- ・テストマーケティング／1回(産業フェア)

開催日：令和元年11月23日・24日

場 所：ツインメッセ静岡

- ・首都圏における商談会／1回 出展数／31社

開催日：令和2年1月29日

場 所：東京 アワーズイン阪急

- ・成果発表会※

開催予定日：令和2年3月4日 場所：静岡市産学交流センター

※新型コロナウイルス感染症拡大を回避するため中止

【令和元年度開発商品】



おいしい産業(株)/もじゃこの煮つけ



SweetsHouse ふわり/清沢レモンケーキ



茶楽(株)山梨商店/フルーツ静岡茶



潮宝食品(株)/焼そばフレック缶詰



(株)天神屋/元祖たぬきむすびの素



山内屋/海と太陽のイチゴジャム

成果目標	結果
新商品開発 6件	新商品開発 6件

③ 産学連携事業

大学等（学術界）が保有する高度で専門的な知識や技術等を、市内の企業（産業界）が活用できるよう橋渡しをした。

＜産学連携コーディネータによる産学連携推進＞

産学連携コーディネータによる相談、大学・研究機関または企業への橋渡しを実施した。

今後も更なる支援強化に向け、引き続き各大学と産学連携コーディネータとの連携強化を図り、マッチング件数の増加に努めていく。

業名	内容	開催回数等
産学連携コーディネータ相談	企業が抱える問題、課題等への相談	相談件数 135 件
静岡地域産学連携コーディネータ会議	静岡大学、静岡県立大学、東海大学海洋学部、(公財)静岡県産業振興財団、静岡県工業技術研究所、静岡市清水産業・情報プラザ、静岡市経済局産業政策課、静岡市産学交流センターのコーディネータとの情報交換	全 9 回
事例セミナー、講演会の開催	・ 第 123 回「産学官交流」講演会・交流会 発表者：静岡理工科大学	参加 47 名
企業及び大学見学会の開催	・ (株) 小糸製作所 ・ (株) ヤマザキ ・ 昭和設計 (株) ・ 静岡県農林技術研究所	参加 10 名 参加 9 名 参加 11 名 参加 26 名

成果目標	結果
相談件数 160 件	相談件数 135 件

地域企業の技術的相談に対応するコーディネータ



<地域課題に係る産学共同研究委託事業>

静岡市における地域の産業戦略の課題を解決することを目的に、静岡市が重点的に振興を図る戦略産業分野(※1)を対象として、中小企業者や各団体が大学等と共同で行う新製品の開発・事業化、新たな事業への進出や社会・経済・環境の変化に対する取組等(調査・研究・開発事業等)を支援した。

- ※1 ①食品・ヘルスケア ②海洋・エネルギー ③観光・ブランド ④文化・クリエイティブ
⑤清水港・ロジスティクス ⑥その他地域活性化・新産業創出に関連する分野

	研究事業	企業 (中心団体)	大学
基礎 コース ※2	生食用ケールの素材を活かす粉末原料化方法の検証と新製品開発の展開	(有)石井育種場	山梨大学生命環境学部
	AI スピーカー を使った観光案内音声システムの開発研究	(株)Otono	常葉大学経営学部経営学科
	低カロリー低糖質な新素材「ドライマンナン(乾燥こんにゃく)」を使用したヘルシーハンバーグの研究開発	(株)信光	静岡県立大学食品栄養科学部
	新マイクロ波抽出技術による魚節フレーバー濃縮エキスの開発	(有)西尾商店	東海大学海洋学部
	非接触で呼吸状態をリアルタイムに把握できる次世代装置の開発	(株)メディカルプロジェクト	静岡県立大学看護学部
応用 コース ※3	植物残渣を活用した雑草抑制ペレットの実用化研究(令和2年度製品化)	日本オーガニック(株)	静岡大学農学部
	ドローンを利用したSLAMレーザー計測の実用化と展開	平井工業(株)	静岡理工科大学理工学部
発展 コース ※4	木質調音パネルを使った携帯電話ブースの制作と販売(令和2年度製品化)	(株)J・ウッド	
	リハビリテーション医学に基づく消臭・吸湿性機能を備えた手掌用介護用品の商品化に向けて	(株)製茶問屋山梨商店	

※2 基礎コース(委託限度額100万円)では、主に、「調査研究や技術・サービスの向上」に係る課題で、新たな提案と具体策が見込め、将来性が期待できるものを採択した。

※3 応用コース(委託限度額200万円)では、主に、「ものづくり系」に関する課題で、基礎的な研究が既にできているもので、事業終了時に必ず試作品ができ、数年内に実用化(商品化)が見込めるものを採択した。

※4 発展コース(委託限度額50万円)では、基礎コースまたは応用コースを経験した後、数年内の課題で、研究が既に終了し、実用化(商品化)を目的とするものを採択した。

なお、令和2年3月17日に予定していた成果発表会は、新型コロナウイルス感染症拡大を回避するため中止した。

成果目標	結果
応募件数 12社	応募件数 15社
製品化件数 2件以上(経営計画目標)	製品化件数 3件※5

※5 製品化の内訳：日本オーガニック(株)、(株)J・ウッド、(有)丁子屋---むかご羊羹

④ 情報提供事業

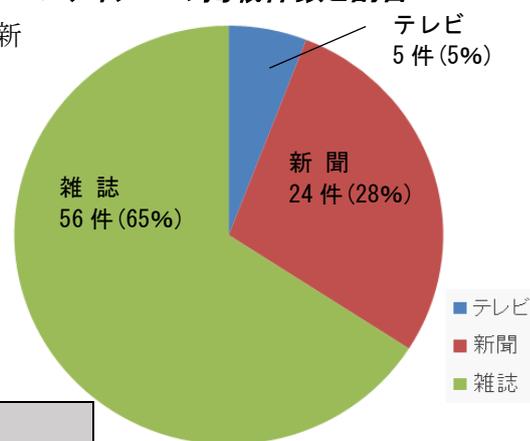
当センターの認知度の向上と利用者の拡大に向けて、起業者及び中小企業者等に対して、当センターや他の産業支援機関等の情報を分かりやすく提供した。

◆ホームページ・メールマガジン・広報誌等による広報事業

当センター、国・県・市等の各行政機関及び産業支援団体等の産業支援に関する情報について、ホームページ、メールマガジン、ブログ、Facebook や広報誌「B-nestFACE」等の媒体により、分かりやすくタイムリーな情報発信を心掛けながら利用者に提供したほか、メディアへの当センターの掲載回数増にも注力した。また、各種事業においてメルマガ登録を推進した結果、メルマガ新規登録者数は増加した。

さらに、施設利用や新着情報に関するスマホ対応ページの充実、当センター紹介パンフレットの更新により、利用者の利便性向上を図った。

メディアへの掲載件数と割合



成果目標	結果
メールマガジン新規登録者数 250件	登録者数 341件

(参考)令和元年度末メルマガ登録件数 2,585件
(前年比+170件)

◆ラウンジ等における情報提供

当センターのラウンジ等にて、「静岡おみやプロジェクト」「産学共同研究委託事業」等で、新たに開発された製品の展示やそれらに関する情報を提供した。また、国・県・市等の各行政機関、他の産業支援団体及び大学等の産業支援施策の情報の一元的な提供にも努めた。

⑤ 施設提供事業

◆貸会議室業務

静岡市から、指定管理者の指定を受け、中小企業や大学等の打ち合わせや研修会、講演会等に施設の貸出しを行なった。

・利用件数 2,208件

・開館時間 月曜日～土曜日 9時30分～22時00分

※ただし、休館日（日曜日、国民の休日及び12月28日から翌年1月5日）を除く。

◆会議室の利用状況

区分 年度	開館日数 (日)	来場者数 (人)	来場者数内訳(人)			利用 コマ数	総 コマ数	平均 利用率※ (%)
			会議室 利用者数	相談者数	日平均			
H31	287	54,868	53,837	1,031	191	5,297	11,480	46.1

※平均利用率=利用コマ数÷総コマ数(各室1日5コマ×全8室×開館日数)×100

成果目標	結果
年間施設使用料 2,300万円(経営計画目標)	年間施設使用料 2,036万円※

※新型コロナウイルス感染症対応に係る展示場等のキャンセル状況は29ページ参照

(4) 静岡市中小企業支援センター事業

静岡市から、静岡市中小企業支援センターの指定法人の指定を受け、中小企業が抱える様々な問題に対して診断・助言を行う等の各種事業を実施した結果、中期経営計画で設定した新規創業者数等の目標を大きく上回る成果を上げた。

① 窓口相談等事業

中小企業者や創業を目指す事業者の課題解決のために、経営の専門家である中小企業診断士で構成する窓口相談員(B-nest 経営応援団)を中心に、経営相談、マーケティングアドバイス、創業相談を行った。

創業スタートアップ講座や他の事業から窓口相談へ誘導を図ったほか、ホームページやメールマガジン等のツールを使い、本事業の周知に努めた。また、窓口相談へのさらなる誘導策として、各診断士によるミニワークショップ「ちょこっとアフター6勉強会」(※1)を毎月開催した。

※1 「ちょこっとアフター6勉強会」…各診断士の得意・専門分野をテーマとした小勉強会
相談件数が前年比大幅に増加したのは、平成31年度より本事業が「特定創業支援等事業」(※2)に認定されたことが主な理由である。

※2 国の認定を受け、創業に関する各種特典(法人設立時の登録免許税の軽減、静岡市制度融資に係る保証料の一部補助等)が受けられる事業。

◆B-nest 経営応援団による相談

- ・ 窓口相談員の配置 5名(経営、資金計画、販路開拓、現場改善、キャリア開発等)
- ・ 開設時間 月曜日から金曜日 13時から19時(産学交流センター)
土曜日 10時から17時(御幸町図書館)

◆相談件数 777件(開設以来最多、前年は590件)

成果目標	結果
新規創業者数 25名 新商品開発 5点 新事業進出 5社 (経営計画目標)	新規創業者数 36名 新商品開発 10点 新事業進出 14社
計 35件	計 60件

*各計数は清水産業・情報プラザ分を除く

② 専門家派遣事業

中小企業者が抱える様々な問題の解決に向けて、適切な診断・助言を行うため、当センターに登録された民間の専門家を事業者に派遣した。

- ・実施分野 経営全般・情報化・マーケティング・デザイン等
- ・実施回数 [一般枠] 125回/27社 [創業枠] 23回/5社
(マーケティング支援14社、経営改善支援9社、デザイン開発支援6社、情報化支援3社)
- ・登録アドバイザー 106名

成果目標	結果
新たに5人の専門家を確保(経営計画目標)	新規専門家登録者数 7名 (うちIT関係相談可 5名)

③ 新連携・地域資源活用プログラム等、利用支援事業

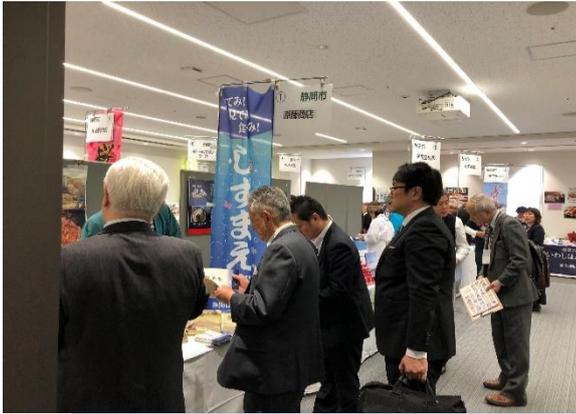
国が進める「新連携」や「中小企業地域資源活用プログラム」等の国庫補助制度の採択に向け、静岡市における地域資源や企業の技術、ノウハウを活かした新製品・新サービスの開発、事業化の推進について、他の支援機関と連携を図りながら支援した。

- ・地域資源活用プログラム支援 (大川企業組合)
- ・新連携支援 (エコウッド景観協同組合、山梨缶詰株式会社)

④ 中小企業等販路開拓支援事業

第10回となった首都圏商談会は、名称を「静岡おみや首都圏商談会」から「静岡 食の商談会 in 東京」に変更、会場も秋葉原から大井町に代えて実施した。また、参加者については、従来のおみや関連事業者の出展枠を外し、首都圏に販路を求める市内事業者に範囲を広げた他、焼津市、島田市、(公財)静岡県産業振興財団に関わる事業者を含め30社が出展した。

さらに、各事業者の目的にかなうようDM発送先を見直し、来場バイヤーの絞り込みを行った結果、前年度に比べバイヤー数は減少したものの、各出展者にとっては、自社商品の優位性への新たな気づきなどが得られた。



静岡 食の商談会：アワーズイン阪急



個別ブースでの商談の様子

◆首都圏商談会 「静岡 食の商談会 in 東京」を開催

- ・期 日 令和2年1月29日(水)
- ・会 場 アワーズイン阪急(品川区大井町)
- ・出展者数 30社(静岡市11社/焼津市11社/島田市3社/財団5社)
- ・来場バイヤー数 217名(食品バイヤー等) ※前年度270名

◆第11回「静岡おみやプロジェクト」お披露目販売会※

- ・開催予定日：令和2年3月28日(土)、29日(日)
- ・会場：エスパルスドリームプラザ
- ※新型コロナウイルス感染症拡大を回避するため中止

◆各種イベントへの出店等

- ・5/3～6 今川復権まつり 静岡市ブースにて「静岡おみやプロジェクト」をPR(駿府城公園)
- ・5/24～26 JR東日本・エキュート日暮里での販売イベント
出展：ホテイフーズ、田丸屋本店、おいしい産業(株)
- ・10/3～10/9 しずおか素敵な手土産展(駿府楽市) 出展：成茶加納(株)
- ・11/5～11/22 静岡ウィーク in 大井町(主催：榎Teable)
出品：岩崎製茶、原藤商店、カネジョウ
- ・11/28 POTLUCK SHIZUOKA(池袋メトロポリタンプラザ WeWork)開催
出展：原藤商店、梅ヶ島くらぶ、茶楽(有)山梨商店、山梨缶詰、マコジャパン
- ・12/18 静岡市東京交流会出展(豆豊商店)

【広報・その他販促支援活動】

- ・静岡デザイン専門学校とのコラボによる静岡浅間みやげ6商品の販促プラン発表会（9月）
- ・静岡市元気シニアサポーター事業商品カタログに新開発商品（浅間みくじせんべい、神社の玉砂利、静岡浅間七社巡りの3商品）を掲載（11月）

⑤ 制度融資関連事務

中小企業者が資金調達のために利用する「中小企業融資制度」の受付事務を静岡市から受託している。

- ・申請受付件数 1,361件（前年 1,251件）
- ・申請金額 6,544,137千円（前年 7,156,382千円）

【申請受付内訳】

制 度	件数(件)	金額 (千円)
小口資金	36	105,480
短期経営改善資金	410	2,204,070
産業振興資金	610	3,690,035
創業支援資金	22	81,500
設備投資強化資金	27	280,052
事業承継支援資金	2	27,000
桜えび不漁緊急対策資金	22	156,000
保証*	232	
合 計	1,361	6,544,137

保証は認定事務のみ

*保証の内訳

- ・セーフティネット保証4号 101件（0件）
- ・セーフティネット保証5号 31件（18件）
- ・危機関連保証 100件（0件）

計 232件（18件） （ ）内は前年実績

保証の内容は、新型コロナウイルス感染症の影響で売上等が減少した企業等に対する資金繰り支援に係るもの

2 収益事業（ツインメッセ静岡）

(1) 展示場及び会議室等の貸与

当協会の経営基盤の安定化を図るとともに、静岡市のMICEの拠点として地域の活性化を推進するため、公益目的以外(収益事業)にも展示場及び会議室を貸与した。

展示場における貸出件数は145件で前年度と比較して20件増加し、収益事業比率は28.3%であった。

大展示場では、定例の自動車や日用品等の販売催事、将棋やカードゲームの競技大会の他、3年ぶりに開催された「大相撲富士山場所」をはじめ、企業の周年事業、社員の健康増進を目的とした催事など新規事業が例年以上に多く開催され市内外から多くの来場者で賑わった。

<主な展示場利用>

催 事 名	使用期間
大相撲富士山場所	4/8・9
杏林堂薬局 ベビーフェスタ 2019	4/11・12
静岡マツダ特設展示会 in ツインメッセ	4/26～28 8/29～9/1 2/7～9
伊藤忠ファミリーフェア	6/21～23 12/13～15
日本語能力検定試験	7/6・7
輸入車アウトレットフェア in ツインメッセ静岡	7/12～15 2/14～16
第5回ハイエンドカーオーディオコンテスト	7/12～14
将棋日本シリーズ JTプロ公式戦/テーブルマークこども大会	7/19・20
JR東海フィジカルチャレンジ 2019	10/4・5
デュエル マスターズ グランプリ 19	10/4・5
静岡グループフェスタ	2/10～11



たくさんののぼり旗が大相撲の奮起を盛り上げた。



多くの相撲ファンが会場に詰め掛けた。

(2) レストランテナント及び飲料水自動販売機事業

テナント方式によるレストランのほか、施設内に飲料水等の自動販売機やコインロッカー等を設置して、施設利用者・来場者の利便を図るとともに、収益の確保に努めた。

サービス施設・設備	数量等	サービス施設・設備	数量等
レストラン	1店	コインロッカー	31箱
飲料水自動販売機	30台	携帯電話充電器	2台
コインコピー機	1台		

3 公益と収益に共通する事業

(1) 利用促進事業

静岡市のMICE推進の中核施設の役割を担う拠点として、にぎわいと活力ある地域づくりに貢献するため、また、施設利用率の向上を図り、安定的な施設運営を継続するため、新規展示会の誘致や自主事業の開催の実現に向けて取り組んだ。

<大規模コンベンションの共同誘致営業>

「MICE連絡会」参加団体である静岡市・するが企画観光局・静岡県文化財団（グランシップ）と共に、静岡開催が有望な「大規模コンベンション」の主催者団体へ合同営業を行った。

また、地方都市でも展示会を開催している展示会主催者に対しても静岡開催の誘致を行った。

成果目標	結果	摘要
誘致案件3件確保	誘致案件3件確保	<ul style="list-style-type: none"> ・第17回全国法人会女性フォーラム静岡大会 (令和4年4月決定) ・国際医薬品開発展(令和2年12月予定) ・賃貸住宅フェア(令和3年度予定)

<中部横断自動車道開通に伴う山梨地区営業>

前年度に引き続き、静岡県中部へ販路拡大を目指す企業・団体に対して「しずおか信金ビジネスマッチング」や「産業フェアしずおか」への出展を促し、ツインメッセ静岡の利用に繋げる活動を行った。

なお、山梨地区のツインメッセ静岡利用拡大を図るこの営業活動は、平成27年度から5年に亘り実施してきたが、当面の施設利用の見込みがない中で出張訪問を取りやめることとした。この間、7回の出張訪問を経て山梨県中小企業団体中央会をはじめ中小企業支援8団体との関係強化に加え、企業団体訪問は延べ59件、約230人と出会い名刺交換を行うことが出来た。引き続き、中長期的には山梨地区の施設利用に対する需要を喚起する必要があるため、今後は、5年間に構築したネットワークと定期的なメール配信等による情報提供を行っていく。

一方で、新たに静岡銀行・山梨中央銀行・Nexco中日本による3社連携協定事業がスタートしたことから、山梨・静岡間全面開通に併せて実施される予定のイベントについて、静岡銀行を訪問し、ツインメッセ静岡の活用を提案した。

成果目標	結果	摘要
当館の開催イベントに山梨県出展企業を5社獲得	山梨県出展企業を4社獲得	「産業フェアしずおか2019」出展企業 <ul style="list-style-type: none"> ・甲府市観光協会 ・甲府市 ・かいや ・サドヤ

<展示場を活用した産業振興とMICE推進>

新分野の利用者や長期利用者などに焦点を当てた営業活動により新規利用者を開拓し、低迷している小展示場の利用率向上を目指した。

特に、西館エスカレータ増設を生かし利用拡大を図るために「小展示場利用促進用チラシ」を作成し、関連各所に配布したが、思ったほどの引き合いがなく利用促進に繋がられなかった。

また、地域産業支援の拠点センターとして、“ものづくり”と“子ども”を対象にした自主事業や、中小企業支援型の「BtoB」型催事の開催実現に向け取り組んだ。

成果目標	結果	摘要
小展示場の利用率 37%以上 (経営計画目標)	小展示場の利用率 34.7%	西館エスカレータ増設に伴い営業ツールとして「小展示場利用促進用チラシ」を製作、関連各所に配布した。
自主事業開催の企画書(案)の作成 (経営計画目標)	自主事業開催の企画書(案)の作成	教育的知見を取り入れた五感を刺激する子ども向け体験型イベント及び地場産業関連のBtoBイベントを検討した。

<広報媒体の活用>

SNSやイベントカレンダー等によるイベント情報告知をはじめ、市内主要駅への広告掲示やイベント情報誌への広告掲載を行い、施設利用促進に努めた。

◆イベントカレンダーの配布

- ・発行部数：12,000部（年6回・隔月発行）
- ・設置場所：静岡県庁、静岡市役所、金融機関、静岡県内観光施設等 175箇所

◆広告掲載

- ・雑誌広告 11件
- ・新聞広告 2件

(2) 有料駐車場の管理・運営（ツインメッセ静岡）

来場者の利便性を高めるため、有料駐車場の管理運営を行った。

◆収容台数 立体587台・地下175台

◆利用料金 30分毎100円

()は前年度

立体駐車場	地下駐車場	計
108,055台 (117,188台)	1,776台 (2,102台)	109,831台 (119,290台)

(3) 施設整備・修繕等（ツインメッセ静岡）

利用者の安心、安全の確保及びサービスの向上を図るため、「中長期修繕更新計画」に基づいた計画修繕（16件）を予定どおり実施した。（その他小破修繕 60件）

また、令和4年度の南館大規模改修事業に向けた基本計画策定業務を実施した。

計画修繕は以下のとおりである。

	計 画 修 繕
1	北館4階レセプションホール照明器具取替修繕工事
2	北館4階レセプションホール音響設備改修修繕工事
3	北館自動制御機器・リモートユニット更新修繕（第2期）工事
4	北館二酸化炭素消火設備容器弁等更新修繕工事
5	北館屋根漏水補修修繕工事
6	北館地下電気室ほか空気調和設備更新修繕工事
7	北館水中ポンプ更新修繕工事
8	南館東面外壁塗装・目地シーリング打ち替え等修繕工事
9	南館大展示場便所改修修繕工事
10	南館電気室積算電力量計取替修繕工事
11	南館倉庫（便所）改修修繕工事
12	中央棟4階409会議室照明器具取替修繕工事
13	中央棟3階事務室ほか2か所照明器具取替修繕工事
14	防災設備更新第1期修繕工事
15	立体駐車場2，3階落下防止柵更新修繕工事
16	VIPルーム照明器具取替修繕工事



レセプションホールの照明器具をエネルギー効率の良い環境にやさしいLED照明に取り替え

外壁塗装修繕によりリニューアルされた南館の東面



4 組織・人材づくりへの取組

(1) 組織内の人材育成

職員に求められる能力や意欲向上に資する研修の実施や、適材適所の配置などにより、効果的・効率的な各事業の推進及び円滑な事業継承を図ることを目的に、職員の研修体制、勤務実績の適正な評価制度の検討に着手した。

成果目標	結果
研修体制や評価方法に関する情報収集（経営計画目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の研修受講履歴を調査し研修記録簿を作成した。 ・市や民間の研修機関の研修体系図等の情報を収集した。

(2) 組織内の内部統制

静岡市の政策実現のパートナーとして、業務を遂行していくうえで求められる内部統制機能の充実を図ることを目的に、関連する規程、マニュアル等の見直しに着手した。

成果目標	結果
見直す規程のリストアップと4年後の完全実施に向けた工程表の作成（経営計画目標）	<ul style="list-style-type: none"> ・内部統制基本方針、危険を未然に防ぐ7つの行動指針を策定したほか、文書の保存及び廃棄の徹底を図るために文書管理規程の骨子を策定した。 ・令和2年度の取組事項（処務規程をはじめ7つの規程等の見直し）を中心に、規程の継続した見直し、研修等に係る4年間の工程表の素案を作成した。

5 新型コロナウイルス感染拡大への対応

新型コロナウイルス感染に関する報道がされ始めた1月以降、その対策に取り組み、ツインメッセ静岡及び産学交流センターの利用に対する安全対策を講じた。

なお、感染拡大を防止するため、2月から3月にかけて多数のキャンセルの申し出があり、施設利用件数が減少したことから、使用料収入に少なからず影響を及ぼした。

安全対策及び各施設のキャンセル状況については、以下のとおりである。

(1) 安全対策

開催催事への感染防止対策	開催時の催事感染症対策のガイドライン（対策マニュアル）を作成し、主催者と連携して対応した。
来場者への感染防止対策	感染症予防のため、施設内に手洗い等の励行掲示や消毒液の配備をするとともに、会場内の換気等を実施した。
職員への感染防止対策	手洗い・うがいの徹底、日常的なマスクの着用、休日の不要不急の外出を控えることなどを徹底した。
防疫に対する備蓄消耗品の管理対策	消毒液、マスク、防護服等の補充及び在庫管理を実施した。
その他対策	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染対策定時会議を開催した。（7回開催） ・静岡市への情報提供を行った。（4回） ・感染拡大が懸念される大型催事への自粛要請を行った。

(2) キャンセル状況

〈ツインメッセ静岡〉

	展示場	会議室	使用時見込額
2月	2件	0件	5,153千円
3月	17件	13件	20,711千円
合計	19件	13件	25,864千円

〈静岡市産学交流センター〉

	会議室	使用時見込額
2月	15件	96千円
3月	56件	559千円
合計	71件	655千円

6 理事会・評議員会

(1) 理事会

開催年月日	議 題	審議結果
R元.5.30 (定 時)	< 審議事項 > (1) 平成 30 年度公益財団法人静岡産業振興協会事業報告及び決算の承認について (2) 定時評議員会の招集について < 報告事項 > 平成 30 年度資金運用状況の報告について	可決 可決 了承
R元.6.14 (臨 時)	< 審議事項 > 公益財団法人静岡産業振興協会理事長及び副理事長の選任について	可決
R元.8.19 (臨 時)	< 審議事項 > (1) 静岡産業支援センターの設置及び管理に関する規程の一部改正について (2) 静岡産業支援センター有料駐車場管理規程の一部改正について	可決 可決
R元.8.19 (臨 時)	< 審議事項 > 評議員会の招集について	可決
R2.2.14 (臨 時)	< 審議事項 > ものづくり産業体験事業に対する協賛金交付事業の承認について	可決
R2.3.17 (定 時)	< 審議事項 > (1) 令和 2 年度公益財団法人静岡産業振興協会事業計画について (2) 令和 2 年度公益財団法人静岡産業振興協会予算について (3) 令和 2 年度公益財団法人静岡産業振興協会資金運用方針について (4) 評議員会の招集について < その他 > 新型コロナウイルス感染拡大に伴う協会事業への影響について (報告)	可決 可決 可決 可決

(2) 評議員会

開催年月日	議 題	審議 結果
R 元. 5. 13 (臨 時)	< 審議事項 > 公益財団法人静岡産業振興協会の理事の選任について 公益財団法人静岡産業振興協会の評議員の選任について	可決 可決
R 元. 6. 14 (定 時)	< 審議事項 > (1) 平成 30 年度公益財団法人静岡産業振興協会決算の承認について (2) 任期満了に伴う理事の選任について (3) 評議員の選任について < 報告事項 > (1) 平成 30 年度公益財団法人静岡産業振興協会事業報告について (2) 公益財団法人静岡産業振興協会中期経営計画について	承認 可決 可決 了承 了承
R 元. 9. 2 (臨 時)	< 審議事項 > 公益財団法人静岡産業振興協会の評議員の選任について 公益財団法人静岡産業振興協会の監事の選任について	可決 可決

参考資料

◇展示場の利用状況

大展示場の利用は、2月以降の新型コロナウイルスを原因とする催事中止に影響を受けたものの、利用件数では前年度と比較して1件減にとどまり、利用日数では12日の増加となった。これにより、利用率は1.5ポイント上昇し、54.7%となった。※利用率=使用日数÷(366-休館日数)

小展示場は、利用件数は、前年度と比較して35件増加し、利用日数でも62日の増加となった。これにより、利用率も4.3ポイント減少し、34.7%となった。

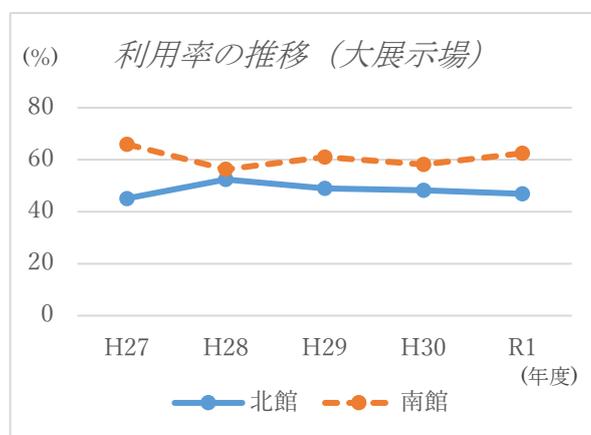
① 利用件数・利用日数・利用率

<大展示場>

()は前年度

	北館	南館	計
件数	64 (61)	96 (100)	160 (161)
日数	169 (173)	225 (209)	394 (382)
利用率 (%)	46.9 (48.2)	62.5 (58.2)	54.7 (53.2)

※休館日：12/29～1/3

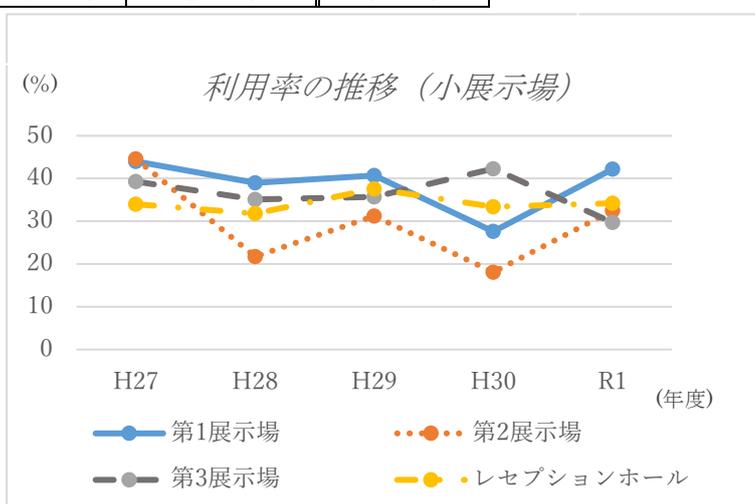


<小展示場>

()は前年度

	第1	第2	第3	レセプションホール	計
件数	73 (54)	42 (30)	61 (52)	58 (62)	234 (198)
日数	152 (99)	117 (65)	107 (152)	123 (120)	499 (436)
利用率 (%)	42.2 (27.6)	32.5 (18.1)	29.7 (42.3)	34.2 (33.4)	34.7 (30.4)

※休館日：12/29～1/3

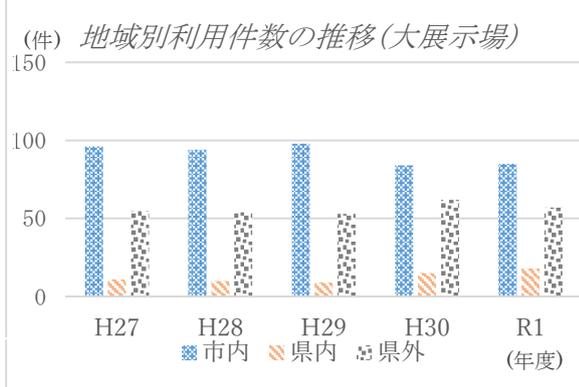


② 地域別利用状況

＜大展示場＞

()は前年度

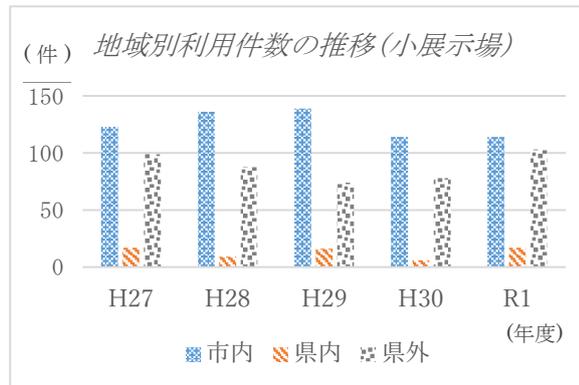
	市内	県内	県外	計
件数	85 (84)	18 (15)	57 (62)	160 (161)
割合 (%)	53.1 (52.2)	11.3 (9.3)	35.6 (38.5)	100 (100)



＜小展示場＞

()は前年度

	市内	県内	県外	計
件数	114 (114)	17 (6)	103 (78)	234 (198)
割合 (%)	48.7 (57.6)	7.3 (3.0)	44.0 (39.4)	100 (100)



③ 企業等規模別利用状況

＜大展示場＞

()は前年度

	中小企業等	大企業	計
件数	139 (143)	21 (18)	160 (161)
割合 (%)	86.9 (88.8)	13.1 (11.2)	100 (100)



＜小展示場＞

()は前年度

	中小企業等	大企業	計
件数	188 (158)	46 (40)	234 (198)
割合 (%)	80.3 (79.8)	19.7 (20.2)	100 (100)



④ 業種別利用状況

単位：件 ※()は前年度

業 種	大 展 示 場			小 展 示 場				
	北館	南館	計	第1	第2	第3	レセブ	計
農林水産・食品等	6	6	12(12)	1	2	1	1	5(8)
産業機械・精密機械	4	1	5(5)	5	1	3	1	10(7)
建築・住宅・資材	4	18	22(24)	17	8	5	6	36(34)
医療・福祉・美容	3	9	12(11)	15	1	5	5	26(22)
家具・雛具・仏壇等	2	1	3(4)	5	2	3	6	16(11)
交通・車両・運輸	7	5	12(12)	0	2	1	3	6(6)
家 電	2	3	5(5)	1	1	2	2	6(10)
システム・OA・ ソリューション	0	0	0(0)	1	3	2	1	7(11)
情報・通信・映像	0	0	0(0)	1	0	0	1	2(1)
物流・商社・店舗	11	14	25(28)	1	3	2	6	12(11)
衣料・呉服・宝飾等	0	1	1(3)	4	1	2	3	10(11)
スポーツ用品	0	1	1(2)	1	0	3	1	5(2)
家庭雑貨・文具	1	1	2(1)	0	0	5	0	5(4)
文化メディア・マスコミ	0	2	2(1)	3	3	3	3	12(6)
趣味・娯楽・ペット・ プラモデル	10	14	24(24)	7	7	9	3	26(14)
行 政	1	5	6(6)	0	1	3	1	5(5)
学校・教育	10	8	18(18)	2	5	7	7	21(15)
その他	3	7	10(5)	4	2	10	8	24(20)
合 計	64	96	160(161)	68	42	66	58	234(198)

◇会議室の利用状況

会議室は、市内の民営会議室の増加や2月以降の新型コロナウイルスの影響で大幅に減少した。利用日数は、前年度と比較して201日減少し、利用率は6.4ポイント低下し、56.7%となった。※
利用率=使用日数÷(366-休館日数)

<中央棟>

()は前年度

会議室	401	402	403	404	405	406	407	408	409	計
日数	208 (226)	194 (212)	183 (211)	197 (211)	210 (226)	195 (221)	227 (247)	257 (282)	166 (202)	1,837 (2,038)
利用率 (%)	57.8 (63.0)	53.9 (59.1)	50.8 (58.8)	54.7 (58.8)	58.3 (63.0)	54.2 (61.6)	63.1 (68.8)	71.4 (78.6)	46.1 (56.3)	56.7 (63.1)

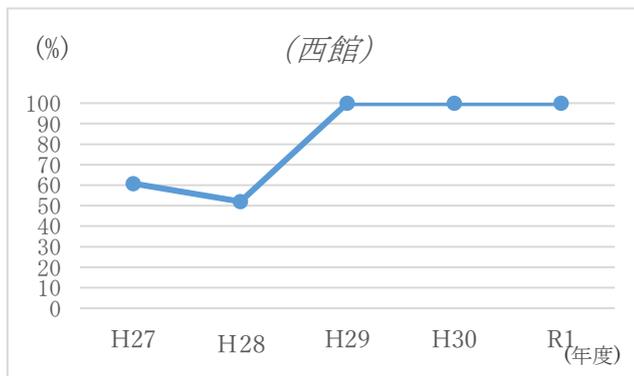
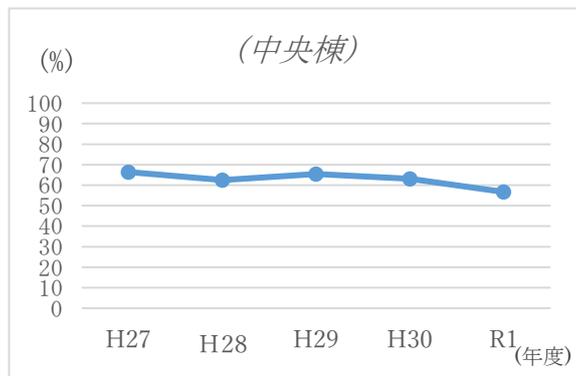
※休館日：12/29～1/3

<西館>

()は前年度

会議室	201	202	203	計
日数	360 (359)	360 (359)	360 (359)	1,080 (1,077)
利用率 (%)	100 (100)	100 (100)	100 (100)	100 (100)

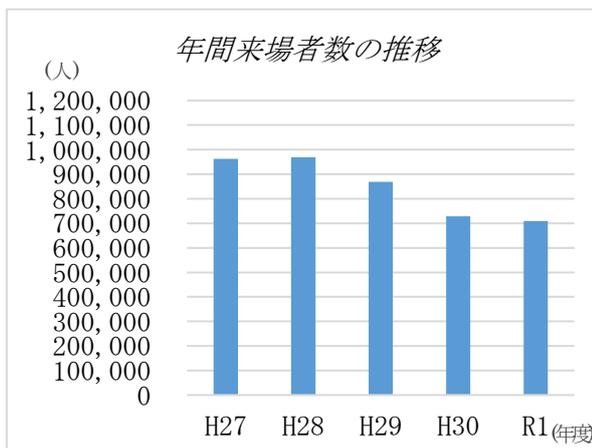
※休館日：12/29～1/3



◇年間来場者数

ツインメッセ静岡の年間来場者数は、2月以降に予定した大型催事が新型コロナウイルスにより開催中止となったため、前年度と比較して20,007人減少し、708,581人となった。

- ・年間来場者数 ※()は前年度
708,581人(728,588人)



◇組織構成

(1) 役員 [R2.3.31 現在] ()は前年度

理事	評議員	監事	計
10人 (10人)	8人 (8人)	2人 (2人)	20人 (20人)

(2) 事務局 [R2.3.31 現在] ()は前年度

職員数 31人(31人)

- ◆内訳：事務局長兼課長 1 (1) 課長 2 (2) 担当課長 1 (1) 参事 3 (1)
 担当参事 1 (0) センター長兼プロジェクトマネージャー 1 (1) 主幹 2 (5) 副主幹 2 (0)
 主任 4 (6) 主事 1 (1) 嘱託 9 (9) 非常勤 4 (4)

